

令和四年度

新潟県立十日町看護専門学校

卒業証書授与式 学校長式辞

新型コロナウイルス感染症の長く大きな制約から 日本が解放されつつある 今日の良い日に 新潟県立十日町看護専門学校は 山崎理病院局長はじめ多くのご来賓のご臨席を仰ぎ 関係各位のご理解とご努力により 初めて卒業式を かくも盛大に挙行できますことを まずもって深く感謝申し上げます。

今ほど卒業証書を授与された 令和四年度卒業生三十四名の皆さん 卒業おめでとうございます。そして この日を待ちに待った ご家族様に衷心よりお祝いを申し上げます。三年間の教育課程を支え続けてくれた教職員、校舎を提供いただいた十日町市はじめ行政や議員の皆様、実習指導をいただいた病院の看護部長様、宿泊研修はじめ多くのご支援をいただいた市民の皆様、後輩の学生諸君に改めて御礼申し上げます。多くの関係者に見守られ 第一期卒業生は心から幸せを感じていることと思います。

思い起こせば三年前 本校初の入学式は 厳しい感染対策のもとに 新入生と教職員など極めて限定的な式典でした。その後も オンライン授業やクラスター対応など 予想外の困難に見舞われましたが 学生と教職員は一丸となり工夫を重ね努力を続けて参りました。新カリキュラムを先取りして地域医療を深く学び 多数の病院や施設で教育を授かることで、大きく成長して国家試験に臨むことができました。

春からの就職先希望には 一期生全員が新潟県内の病院名を書いてくれました。本校開設の理念は浸透し 新潟県の医療を自ら支えるという自覚に充ちた学生に育ちました。

本校が十日町に開設されたことにより 周辺地域から多くの社会人が新しい道を目指しました。多くの男子学生が本校に集まってくれました。彼らの勇気は学校に大きな力を与えたと思っています。この挑戦は きっと新潟県の医療変革の芽吹きにつながると信じています。

とは言っても 卒業生の皆さんは これからプロとしての洗礼を受けます。戸惑いや不安や悩みを感じるでしょう。その際には 皆さんの

実家に等しい教職員を訪ね 同級生を頼ってください。皆さんを支える仲間は大勢います。

加えて 皆さんを成長させる一番の先生は患者さんであることを忘れないでください。この三年間で身につけた学習習慣も大切に維持してください。入学時に目標とした国家資格獲得は、成長するにつれて 社会貢献のスタートラインだったことに気が付きます。

日進月歩の医療を学び続け、皆さんそれぞれが健康に恵まれ、プロと呼ばれるに相応しい看護師になってくれることを願っています。そして、皆さんが自分の人生を振り返って見た時に「私は天職に巡り合った」と感じてくれることを願っています。

医療者たるもの、自分の健康管理は最も大切です。皆さんの心身の健康が常に保たれ、未来が明るく充実したものであることを信じ、関係各位をはじめ ここに集いし皆様のご健勝とご多幸を祈念し 卒業式の式辞といたします。

令和五年三月七日

新潟県立十日町看護専門学校

学校長

塚田芳久